



うみのこてらす

uminoco terrace





活動報告

2025年4月-2026年3月











こどもと、大人と、地域と、2026。

日頃より、うみのこてらすの活動にあたたかい応援をいただき、
誠にありがとうございます。

公民館を間借りして始まった小さな活動も、
地域の皆さまに支えられながら、少しずつ広がってきました。
こうして今年も年次報告書をお届けできることを大変うれしく思っています。

この一年も、こどもたちの日常のそばで、
居場所づくりや学びの支援、訪問支援などの活動を続けてきました。
子どもたちの何気ない一言や、小さな変化に出会うたびに、
この場所の大切さを改めて感じています。

今回の年次報告書では、この一年の活動の歩みや子どもたちの姿を、
日頃の感謝の気持ちを込めてまとめました。

まだまだ小さな団体ではありますが、これからも
こどもと、大人と、地域と。それぞれがつながりながら育っていく場を、
この地域で丁寧に育んでいきたいと思います。
今後とも、あたたかく見守っていただけますと幸いです。



特定非営利活動法人
うみのこてらす
理事長 川邊　笑

2024-2025年次活動報告書 ｜ 目次

ごあいさつ …… 01
わたしたちについて …… 02
活動の全体図 …… 03
居場所のかたち …… 04
①われもこう …… 05
②ゆあぷれ …… 06
③訪問支援てらすBOX …… 07
④てらす食堂 …… 08
⑤ゆうてらす …… 09
てらすの1日 …… 10
こどもたちの時間 …… 11
支え合う人たち …… 12
つながってくれた人たち …… 13
正直に話す、お金のこと …… 14











うみのこてらす
uminoco terrace

理念 | Philosophy

声なきこえを聴き
ともに今を・明日を・未来をてらす

ビジョン | Vision

すべてのこども・若者が大切にされ
自分らしく人生を描き、歩んでいる社会を
日本の末端まで

どこで生まれ育っても、
教育と居場所の選択肢を。地方のこども支援のインフラをつくりたい。

学校がしんどい日、家にいるのも少し苦しい日に、
ふらっと来られる場所がこの町にもあったらいい。
・・・そんな思いから、2020年夏、このちいさな活動が徳島で動き出しました。

今では、こどもや若者が安心して過ごせる居場所を中心に、
学びのサポートや訪問支援など、地域の中でできることを少しずつ続けています。

こどもは、町の、社会の、未来です。どこに生まれても、どんな環境で育っても、
あたたかなつながりの中で安心して育ち、学び、自分らしい人生を歩んでいける社会を。
声なきこえにも耳を傾けながら、
今も、明日も、未来も、ここ徳島から照らしていきたいと思っています。

組織概要 | うみのこてらすを支える メンバーの紹介


理事長
川邊　笑


理事
中村 暉梨


理事
西口 哲浩


監事
大西 浩正


こども支援事業部
海部・徳島拠点長
高間 晴暉


こども支援事業部
徳島拠点事業責任者
村﨑 弘汰


こども支援事業部
徳島拠点支援インターン生
鈴木あやめ


こども支援事業部
海部拠点支援スタッフ
爲下 あやこ


こども支援事業部
オンライン支援スタッフ
渡辺 隼人


こども支援事業部
オンライン支援教材開発
山口 由起子


こども支援事業部
メール相談員/福祉専門家
鳴滝 美咲


パートナーシップ推進部
広報担当
山下 由絵美


パートナーシップ推進部
パートナー担当
宮繁 寧々


ともに活動するボランティアのみなさま

うみのこてらす
uminoco terrace

学校に行きづらさを感じている子、家から出るきっかけを見つけられずにいる子…
地域の中には、声に出せないまま、生きづらさを抱えているこどもたちがいます。

うみのこてらすは、日々の関わりの中で、こどもに必要なのは、
特別な支援だけではなく「3つの機会」であると考えています。

こども・若者の人生をてらす 3つの機会

つながる環境
信頼できる人とのつながり
豊かな出会い

人と出会い、関係を築いていける

学ぶ環境
個に応じた適切な
学びを受けられる環境

自分のペースで学びに触れられる

多様な環境
土台となる
多様な経験や挑戦

知らなかった世界や選択肢に出会う

自分らしく生きていくチカラの育成

「ここなら少し安心できるかも」そんな小さなきっかけから、表情や過ごし方が変わっていく。その姿を、私たちはこれまで何度も見てきました。経済的な理由にもかかわらず、どんな状況にある子でも、どこからでも、どの段階からでも関われるように。拠点・訪問・オンラインを組み合わせながら、それぞれの子に合った関わり方で、つながり続けていました。安心できる場所や人との出会い、小さな「できた」の積み重ね、新しい一歩につながる経験。そのひとつひとつが、こどもたちが自分らしく生きていく力となり、未来へとつながっていくと、私たちは信じています。



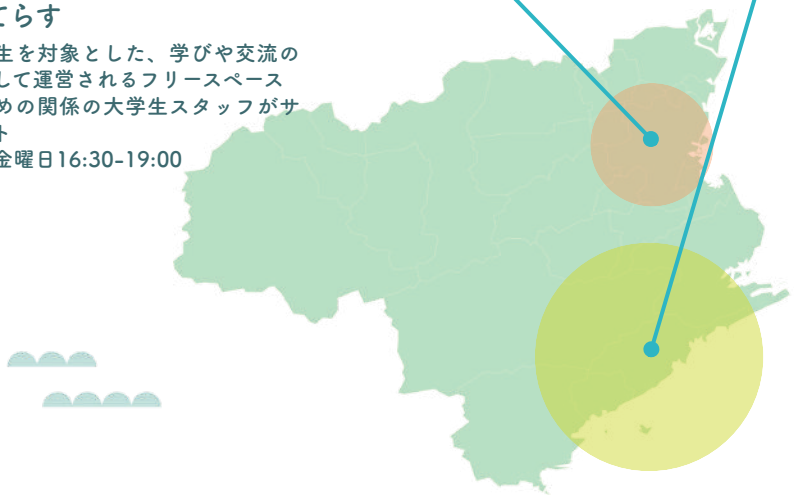
福岡晃子さん（元チャットモンチー）がうみのこてらすのオリジナルテーマソングを作詞作曲してくれました！

活動の様子をYouTube動画でご覧ください

活動事業 | Activity

徳島市拠点

中高生のフリーカフェ ゆうてらす
- 中高生を対象とした、学びや交流の場として運営されるフリースペース
- ななめの関係の大学生スタッフがサポート
- 毎週金曜日16:30-19:00



海部郡拠点

フリースペース　われもこう
- 学校に行きづらい小学生～高校生向けの居場所
- 毎週水曜日と木曜日実施

フリースペース　ゆあぷれ
- 中高生を中心とした誰もが気軽に立ち寄れる居場所
- 第2・3・4日曜日に実施

てらすbox／ホームフレンド
- 拠点に通いにくい子ども・若者の自宅に訪問したり、食糧支援をしたり、個別のサポートを行う

てらす食堂
- こどもや若者、大人までほっと一息つける食事や交流の居場所

フリースペース われもこう

学校に行きづらい小学生～高校生 通信制高校生までの居場所活動





開所

毎週水・木曜日
午前9時～午後3時30分

実績

利用数 29名　卒業生 8名

- ☑ 居場所
- ☑ 学習支援







住所：
徳島県海部郡牟岐町
中村本村14
旧牟岐小学校　1階

われもこうは、学校に行きづらさを感じているこどもたちが安心して過ごせる居場所です。
何かを頑張ることよりも、そのままでいられることを大切にしています。ゲームや会話など、それぞれのペースで過ごす中で、少しずつ表情がやわらいでいきます。進路に向けた個別面談も重ね、今年は8名の卒業生を送り出しました。
「ここに来ていい」と思える場所を、これからも大切にしていきます。



2026年3月19日（木）
うみのこてらす卒業式

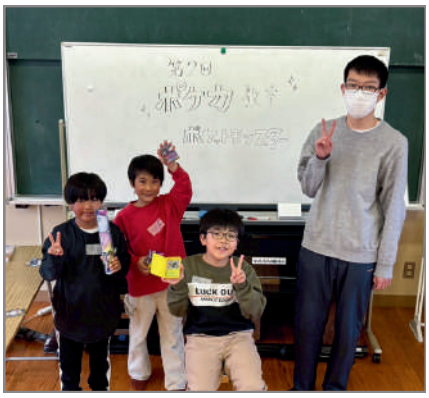
8名が卒業を迎えました。 それぞれのスタートを応援！

卒業式では、在校生による思い出ムービー、一人ひとり違うアルバム、卒業生からの手作りスイーツで、笑顔の中にも、思わずホロリとする場面があり、やさしい空気が流れていました。
ここで過ごした時間や経験が、これからの力になっていきますように。
卒業おめでとう。それぞれの新しいスタートを、心から応援しています。

フリースペース ゆあぷれ

中高生を中心とした
誰もが気軽に立ち寄れる居場所





開所

第2・3・4日曜日
午後1時30分～午後4時

実績

参加人数 32名/回

年間延人数 152名

☑ 居場所
☑ 学習支援

住所：
徳島県海部郡牟岐町
中村本村14
旧牟岐小学校　1階

ゆあぷれは、中高生を中心に毎週日曜日にひらいている自由な場です。週の終わりの午後、ふらっと来て少しだけ過ごす日もあれば、気づけば最後までいる日も。にぎやかな笑い声が続く時間もあれば、同じ空間でそれぞれが静かに別のことをしている時間もあり、そのどちらも自然に行き来しています。
今年度はある子の「やってみたい」という一言からポケモンカード教室や大会が動き出しました。ルールを教え合ったり「対戦お願いします！」と声をかけ合ったりする中で、少しずつ関わりが広がっていく様子が見られました。
また、地域の方や長期休みに訪れる大学生・若手社会人が加わることで、いつもとは違う話題が生まれたり、思いがけない会話が続いたりする日もあります。
そんな時間が、それぞれの中に小さく残っていくように感じています。






ポケカ大会


まったり


お菓子作り

訪問支援事業 てらすbox

訪問による学習・対話支援ホームフレンド
食料を届けるフードパントリー



- ☑ 学習支援
- ☑ 対話支援
- ☑ 物資支援
- ☑ 訪問型

開所

ホームフレンド：週1回～
（各家庭に応じて調整）
フードパントリー：毎月1回

実績

年間延人数
ホームフレンド　7名
てらすbox　47名 / 19家庭

拠点に来ることが難しいこどもたちとも、つながりを途切れさせないために。ホームフレンド事業ではスタッフが直接ご家庭を訪問し、一対一で関わります。毎月の食料配達では、玄関先でのちょっとした会話がゆるやかなつながりになっています。「また来てくれる人がいる」という安心を、これからも届け続けていきます。









一軒一軒の暮らしに寄り添える
フードパントリーでありたい

食材を選んで箱に詰めて、届けに行く。玄関先で受け取ってくれるときの「ありがとう」が、次もがんばろうと思える瞬間です。
小さな町だからこそ、一軒一軒の暮らしに寄り添えるフードパントリーでありたいと思っています。

こども食堂
てらす食堂

地域のこども・若者・住民が集まり
食事をともにする場





開所

毎月第1日曜日
午前11時30分～午後1時

実績

ボランティア含む
参加人数 80名/回
提供数 50～80食

☑ 居場所
☑ 食支援

住所：
徳島県海部郡牟岐町
川長新光寺82-82
牟岐町海の総合文化センター

てらす食堂は、毎月地域のみなさんと一緒にごはんを囲む時間です。
地域の方が持ち寄る食材や「手伝いにきたじょ」と集まる人たちに支えられ、ボリュームたっぷりの料理が並びます。
「こどもの顔を見るだけで元気もらえる。地域の宝やね」
そんな言葉が生まれるこの場所で、食べることをきっかけに会話と関係が広がっています。





みんなでいただきます！
地域のみんなでつながる時間

体操クラブのあと、お腹を空かせたこどもたちをそのままてらす食堂へ。
「まだ遊びたい！」とゴネる子も、ここなら案内できます。
みんなで囲むごはんは、美味しくて楽しくて、最高の時間です。

中高生のフリーカフェ ゆうてらす

中高生を対象とした、学びや交流の場としてのフリースペース





開所

毎週金曜日 午後4時半～午後7時
※特別イベントは不定期で実施

実績

年間延人数 **453** 名







2024年8月スタートの「ゆうてらす」は、徳島駅から徒歩5分で中高生が気軽に立ち寄れる場です。
おにぎりと味噌汁を提供した日には、80名を超える中高生が集まりました。回を重ねるごとに「また来たよ」と顔を見せてくれる子が増え、大学生スタッフや同年代との関わりも生まれています。
日常の中でふと思い出してもらえる場所を目指しています。

- ☑ 居場所
- ☑ 食支援
- ☑ 学習支援

住所：
徳島市幸町一丁目43
SATOビル1階
まちのえんがわ

徳島県徳島市寺島本町
西１丁目５
アミコビル東館　9階
アミコ青少年センター





こども支援事業部
徳島拠点ゆうてらす　事業責任者
村﨑　弘汰

大学生の寄り添いから生まれる安心の居場所

徳島市内の中高生が利用するゆうてらすは、第１～３金曜日、小さく落ち着いて過ごすことができる居場所で、ご飯を食べたり、勉強をしたり、お話をしたりしています。
第4金曜日はアミコビル9階の青少年センターのご協力のもと食事の配布を行い、中高生の見守りや活動を知ってもらうための各種イベントなどをしています。
大学生が運営を行い、中高生と年齢が近いからこそ話せる悩みや相談事があると考え活動を行っています。

オンライン支援 おんてらす

中高生を対象とした Zoom等を活用するオンライン個別学習・対話支援





開所

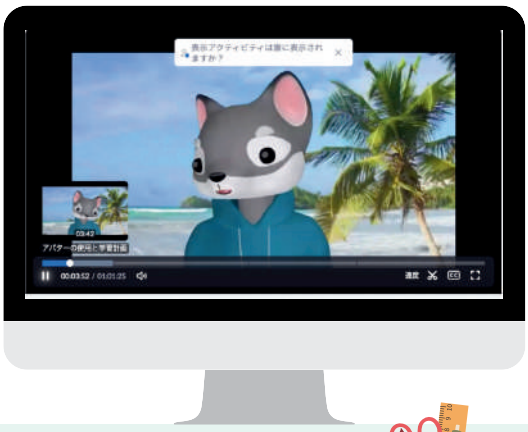
週1回／60分間
各家庭に合わせて調整

実績

年間延人数 12名

- ☑ 学習支援
- ☑ 対話支援
- ☑ オンライン型

2025年度スタートの「おんてらす」は、オンラインでつながる学習支援の取り組みです。
「外に出ることが難しい」「対面だと緊張してしまう」そんな中高生と、週1回画面越しに顔を合わせながら学びと会話を重ねています。
直接会えなくても、画面越しだからこそ続いていく関係があります。場所にとらわれず、こどもたちの「できる」を広げていきます。





パートナーシップ推進部
パートナー担当
宮繁　寧々

お互いのことを知り 安心して話せる関係をつくる

私は勉強を教えるだけでなく、学校やお家での出来事、好きなことや趣味など、いろいろなお話をする時間も大切にしたいと思っています。
何気ない雑談や相談を通して、お互いのことを知り、安心して話せる関係をつくれたら嬉しいです。勉強がうまくいく日も、そうでない日も大丈夫！
こどもたちが「また話したいな」「また来たいな」と思えるような時間を一緒に過ごしていきたいと思っています。

うみのこてらす

note

― てらすの“ひと”

この一年、連載「てらすの“ひと”」では、こども、保護者、スタッフ、ボランティア、地域の方など、活動に関わるひとりひとりの声や姿を言葉に残してきました。

連載の一部をご紹介します



#01　ひとりの卒業生の物語
めぐり合わせってあるんやな



うみのこてらすのオープン初日から来ていた1期生のHくんは、

中学生の頃、しんどい日々の中で体が動かなくなった時期があり、
少しずつ時間をかけて外に出られるようになって、
この場所にたどり着きました。





そして、卒業したあとも、ときどきふらっと顔を見せてくれます。
今、整備士になる夢に向かっています。Hくんは、こう言います。

『これからも続けてほしい。
自分みたいな子は、きっとまたおると思うけん。』



当時、中学校でHくんを気にかけていた先生、けいこさん。
学校を退職して、今は、ボランティアとして活動に関わってくれています。

「体が動かんようになったって聞いたは、ほんまに心配でね。」

そう話したあと、
ここで再会したHくんの姿を思い出しながら、こう続けました。

『でもな、ここで再会した時、
ちゃんと体を動かして、誰かと話して、笑っとったんよ。』

『めぐり合わせって、あるんやな。』

Hくんは、少し照れくさそうに言います。

それぞれが別の場所で過ごしてきた時間が、
うみのこてらすで、ふたたび重なりました。

人と人が出会い、時間が重なっていくこと。
その中で生まれるものを、
これからも大切にしていきたいと思います。





#02　大切にしていること
好きなこと、個性をのばす

こどもたちの感性から生まれるものに、私たち大人がはっとさせられる場面が、日々あります。
それぞれの「好き」や「得意」が、この場所の空気を少しずつ形づくっています。特別なことではないけれど、そのひとつひとつが、その子らしさとして、確かにここにあります。



虫をじっと観察して
そのままの姿を
細かいところまで
鮮明に写しとるように描く

身近にあるものを使って
夏祭りの
出し物をつくる





のんびりとした時間に
ウクレレを弾いて
場をやわらかくしてくれる

料理やお菓子作りが
得意でみんなに
ふるまってくれる



小中学校訪問や情報共有で
学校や地域とつながる

2025年度 連携学校 14校



日頃から顔を合わせて話せる関係を大切にしながら、小中学校への訪問や情報共有を行い、一人ひとりに合った関わり方を一緒に考えています。
また、活動の様子やこどもたちの変化を伝えるため、毎月「てらす通信」を発行し、学校や関係機関へお届けしました。
その積み重ねの中で、今年度は14校において、うみのこてらすでの活動を出席扱いとして認めていただきました。出席認定率100%を実現。

さまざまな立場の方々と
地域の中で支え合う





地域のこども食堂や学童、教育相談員、ハローワークなど
さまざまな立場の方々と情報を共有しながら、必要に応じて支援をつないでいます。
一つの場所だけで完結するのではなく、地域全体でこどもたちを支えていくことを大切にしています。

Hot Topic

令和7年度とくしま集落再生表彰「優秀賞」受賞

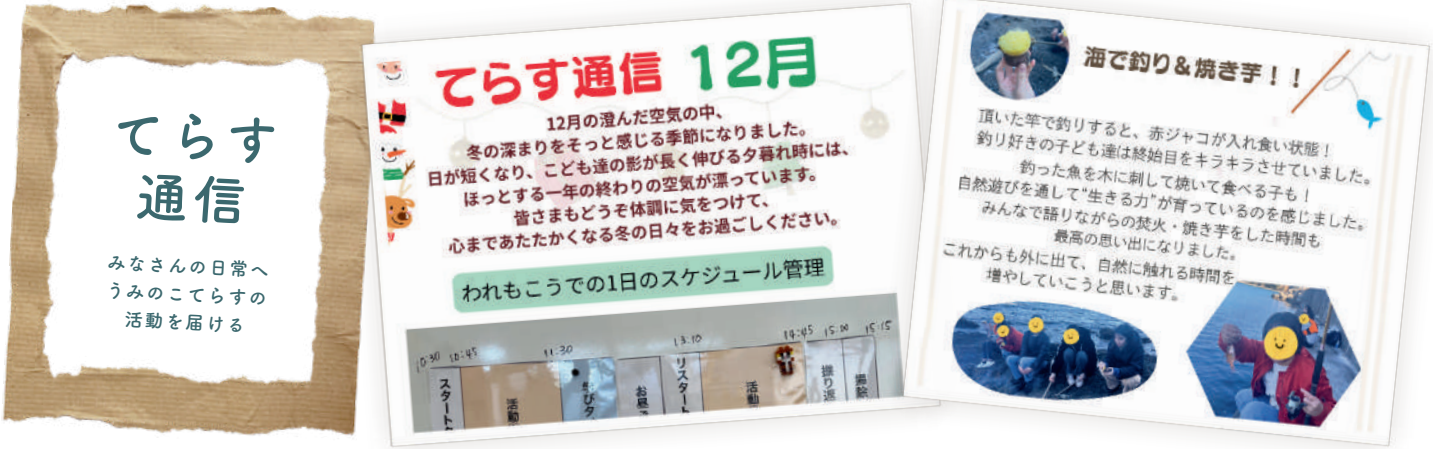
2025年3月24日　徳島県庁にて行われた表彰式

海部郡での子ども支援の取り組みを、地域のみなさんと一緒に続けてきたことを評価していただき、「過疎地域のモデルとして期待しています」とのお言葉もいただきました。これからも地域とともに歩んでいきます。いつも支えていただき、ありがとうございます。



てらす通信の発行で…
日々の取り組みを届ける

日々の活動や現場の様子を伝えるため、学校への定期的な報告や「てらす通信」の発行を続けてきました。活動を“見える形”にして届けることで、新たなつながりや理解につながる場面も少しずつ増えています。



メディア掲載

2025年05月28日
徳島新聞 情報誌 startt
すべての子どもが自分らしく歩める社会へ
うみのこてらす 「居場所」を軸に
事業を増やす

2025年08月03日
読売新聞
10代の居場所　若者が支え

2025年09月28日
徳島新聞
牟岐町「うみのこてらす」徳島市にも活動拠点
不登校児以外も利用できるカフェ設ける
学びの機会を県内全域に

2025年09月30日
徳島新聞
子どもの居場所づくり　うみのこてらす
（牟岐）　寄付者招き交流会

2025年09月30日
edoard WEBマガジン
“クラス替えのない町”で、子どもたちのための第三の居場所を育む徳島県海部郡の廃校を拠点に活動する「うみのこてらす」の挑戦

つながってくれた人たち
これからも、ともに一歩ずつ…

うみのこてらすの活動はみなさまからのご寄付やご協力、助成金などによって成り立っています。
制度だけでは届きにくいこどもたちに、その時に本当に必要な支援を届けていくために、柔軟に使わせていただいています。
日々の活動の積み重ねが、こうした形で支えられています。継続的に関わっていただける仲間も、少しずつ増えてきました。
まだまだ小さな取り組みではありますが、必要としているこどもたちに、確実に届けていくために、これからも、ともにこの場所を支えていただけたら嬉しいです。これからも一歩ずつ続けていきます。

主な支出内容

- こどもたちの活動に必要な材料費や消耗品
- 食事づくりやおやつにかかる原材料費
- 講師や外部協力者への謝金
- こどもを支えるスタッフの人件費
- 広報物の制作費
  （パンフレット・チラシ・ウェブサイトなど）

活動を安定し、継続していくためにも、スタッフの人件費にも使用させていただいております。そのほか、消耗品や食材費、交通費などが主な支出となりました。



サポーターズ（寄付・協賛企業）

日頃よりご支援をいただいているみなさまに厚く御礼申し上げます。こどもたちに無償で学びと安心を届けるために、個人のご寄付に加えて、企業の皆様にもご支援をいただいております。一部ですがご紹介いたします。
今後もみなさまとともに、歩んでいきたいと考えています。

資金提供

こどもたちへ、必要な支援を届けるための運営資金をご協力いただいています。

情熱カンパニー
ITSUMOSMILE イツモスマイル
共に成長できる歯科技工所 SHIKEN シケン
AQS エクステリア アクエス
Classy
椎名産業 KOCHI JAPAN

食材提供

ケーキやお弁当、食材などをご提供いただき、居場所を支えていただいています。

宝来堂 houraido
fresh foods オオキタ
がいふ菓子ロマン KIMOTOYA

助成金

事業の立ち上げや運営を支える資金として、活動の発展を後押しいただいています。

公益財団法人 ベネッセこども基金
こどもの未来応援国民運動

うみのこてらすの皆さんと出会い、実際にこどもたちと関わる中で、一人ひとりが大きな可能性を持っていることを感じました。地域のこどもは地域で育てる。その積み重ねが地域の未来をつくると思っています。うみのこてらすの活動は、こどもたちだけでなく地域や社会の未来につながる取り組みだと感じ、応援しています。

株式会社
情熱カンパニー
代表取締役社長
三木 義和様



2025年度 決算書・収支報告

私たちの活動は、みなさまからのご寄付や助成金に支えられています。日々の活動の中で「これ、使ってもらえたら」と手渡していただいたり、遠くから応援の気持ちを届けていただいたり、そうした一つひとつの想いが、こどもたちの時間につながっています。ここでは、そのお金の流れについて、正直にお伝えします。

（単位：円）

科　目	金　額		
Ⅰ 経常収益			
1. 受取寄付金		11,719,459	
2. 受取民間助成金		12,510,000	
3. 事業収益		1,943,421	
経常収益計			26,172,880
Ⅱ 経常費用			
1. 事業費			
（1）人件費			
給料手当	6,253,154		
従業員賞与	50,000		
人件費計	6,303,154		
（2）その他経費			
会場費	214,950		
研修費	524,000		
業務委託費	7,145,208		
印刷製本費	61,982		
法定福利費	798,350		
旅費交通費	1,034,669		
交際費	124,903		
会議費	206,719		
通信運搬費	747,977		
租税公課	40,700		
消耗品費	2,371,435		
修繕費	134,027		
水道光熱費	112,917		
保険料	179,465		
新聞図書費	155,460		
諸会費	168,500		
支払手数料	937,145		
地代家賃	420,000		
支払報酬料	396,000		
減価償却費	1,164,166		
その他経費計	16,938,573		
事業費計		23,241,727	
2. 管理費			
（1）人件			
費人件費計	0		
（2）その他経費			
旅費交通費	6,810		
支払手数料	25,157		
消耗品費	85,444		
減価償却費	347,906		
その他経費計	465,317		
管理費計		465,317	
経常費用計			23,707,044
経常外収益			
事業費			
雑収入	399,181		
管理費			
受取利息	36,065		
雑収入	128,112		
経常外収益計			563,358
税引前当期正味財産増減額			3,029,194
法人税、住民税等及び事業			70,000
税当期正味財産増減額			2,959,194
前期繰越正味財産額			19,385,132
次期繰越正味財産額			22,344,326

寄付金について

個人のマンスリー寄付2025年度96人。単発でのご寄付、法人様のご寄付など、たくさんの方にご支援いただきました。
その中には「来年にも使ってほしい」と託していただいたものも含まれており、寄付額の全体のうち【4割程度】が次年度分となっています。

助成金収入について

2025年度は行政からの補助は全体の1割にもなく、行政の制度では届きにくい部分を補うかたちで、民間企業や財団のみなさまから助成をいただいています。

支出について

日々の活動は特別なことばかりではなく、こどもたちと過ごす“いつもの時間”の積み重ねです。

人件費

今年度は、フルタイムメンバーが2人、有償スタッフは10人を超える体制となりました。
関わる人が増えた分だけ、できることも少しずつ広がっています。

業務委託費

副業の方、学生インターン、専門的なサポート、広報物の制作、会計などをお願いした費用です。

旅費交通費

日々のスタッフの拠点までの交通費、
県外等への出張や視察などの旅費宿泊費

消耗品費

文具や道具、ご飯をつくる食材など、こどもたちの活動に欠かせないものの購入費です。

支払手数料

日々の決済等にかかる手数料に加えて、寄付決済の手数料などが含まれています。

次期繰越について

寄付金の一部は次年度分としてお預かりしており、数字だけを見ると大きく見えるかもしれませんが、それは「これからも続けてほしい」という想いを、前もって託していただいているものでもあります。また、規模が大きくなっても安定して経営できるように、向こう半年間の資金は確保できるように意識しています。
来年度は【3000万円規模】での活動を見込んでおり、関わってくださる方も少しずつ増えてきました。

いただいた想いを
ちゃんと現場に返していくこと。
そして、この場所を続けていくこと。
その両方を大切にしながら、
これからも一つひとつ積み重ねていきます。

うみのこてらすへのご支援について

活動はみなさまからのご寄付をはじめ、様々なご支援によって成り立っています。
学校や家庭だけでは支えきれないこどもたちや若者に、
安心して過ごせる居場所や、学び・体験・つながりを届けています。

まだまだ障害者分野のように制度事業ではなく、
さらに若い団体の私たちの活動で、行政からの補助なく運営しています。
また、民間助成金も用途に制限がある場合があります。
ご寄付だからこそ、本当に必要な支援を柔軟に届け、
こどもたちやスタッフにより良い環境を整えることができます。
行政や制度だけでは届きにくい支援を、地域のみなさんと一緒につくっていきたいと考えています。

個人のみなさまからのご支援

ご寄付

毎月1,000円からの応援サポーターを募集しています。いただいたご寄付は、こどもたちの活動費・拠点の備品等購入・スタッフ人件費・交通費等に活用させていただきます。



ボランティア

一緒に活動してくださるボランティアを募集しています。こどもと関わることが好きな学生・社会人・地域の方、一緒にこどもの成長を見守っていきませんか？お好きなペースでご参加いただけます。



毎月1,000円でできること

1人のこどもに
1時間分の勉強を
教えることができます

毎月3,000円でできること

1人のこどもが
1日無料で居場所に
通えるようになります。

食材・物資

こども食堂や居場所で使用する食材や物資、備品等の提供を募集しています。
ex）お米、調味料、お野菜、飲み物 など



寄付フォーム

・オンライン
・クレジットカード払いに対応

右のQRコードを読み込み、
寄付サイトより登録・決済いただけます。

銀行振込

GMOあおぞらネット銀行（0310）
法人第二営業部支店（102）
普通　2460981　トクヒ）ウミノコテラス

お振込手続きが完了しましたら、
事務局までご一報いただけますと幸いです。

法人のみなさまからのご支援

法人のみなさまからのご支援も募集しています。ご寄付・スポンサー・物資提供など、さまざまな形でご参加いただけます。法人からのご寄付は、税法上「損金」として計上にすることができます。
ご支援に関するご相談は、お気軽にお問い合わせください。

うみのこてらす
uminoco terrace

特定非営利活動法人 うみのこてらす
〒775-0006　徳島県海部郡牟岐町中村大谷95-7
TEL　070-1465-4894
MAIL　info@uminokoterasu.com

居場所の開催情報やお知らせをチェック！

ウェブサイト　公式LINE　各種SNS

ご見学や取材、活動、ご支援に関するお問い合わせは、事務局でお待ちしています。